

平成 28 年 3 月 30 日

(MFJ 第 15-99)

MX エントラント、主催者、競技役員 各位

通達：MX フェンダー等材質の統一解釈について（モトクロス基本仕様・国内モトクロス技術仕様）

質問

通常、プラスチックを用いている外装類（フロント・リヤフェンダー、シュラウド、フロント・サイドゼッケンプレート）は、柔軟なものであればカーボン製の物は使用可能か？

現状規則

- 国際 A 級、国際 B 級、国内 A 級、国内 B 級、ジュニアクロス、レディースクラス
246 ページ 3-10-2 マッドガードの後端は丸められていなくてはならず、この丸め方は最低半径 8mm 以上 60mm 以内でなければならない。
247 ページ 3-14-1 ナンバープレートの材質は柔軟なもの（例：プラスチック）でなければならない。
- 国際 B 級、国内 A 級、国内 B 級、ジュニアクロス、レディース
255 ページ 7-1-5-1 フロント・リヤマッドガード（フェンダー）/サイドカバー（ゼッケンプレートを含む）/ラジエーターシュラウドの変更は許可される。ただし、基本的な外観形状は公認車両に装備されたものと同形状でなければならない。材質の変更は許可されるが、カーボンファイバーは使用できない。
- 定義：「柔軟なもの」とは、材質を問わず破損や亀裂等が起こった場合でも、先端が鋭利、又はエッジ状にならないこと。

2016 シリーズ規則の統一解釈及び運用

国際 A 級、国際 B 級、国内 A 級、国内 B 級、ジュニアクロス、レディースクラス：
フロント・リヤマッドガード（フェンダー）、サイドカバー（サイドゼッケンプレートを含む）、ラジエーターシュラウド、フロントゼッケンプレートは、材質を問わず破損や亀裂等が起こった場合でも、先端が鋭利、又はエッジ状にならない「柔軟なもの」であること。

以上

MFJ モトクロス委員長 田中隆造